

学術情報センターだより

Library and Information Technology Center, Nagoya Women's University

幅広い人間性を育む「読書推進活動」

私の人生本棚～目指せ 7305P～

遠山 佳治 (短期大学部部长)

平成 25 年 8 月 28 日の毎日新聞にて、本を読まなくなった学生への教育的対応として、名古屋女子大学の「短大生が卒業する 20 歳までに生きてきた日数と同じ 7305 ページの読了を目標とし」「学生に読書ノートを配布し、感想をつづってもらい、図書館内のファイルにとじて公開している。別の学生が本を読む参考にしてもらう狙いだ。」と読書推進活動が紹介されました。

思い返せば、平成 23 年度の短期大学部学科長主任会議において、短期大学部教育の一環として読書啓発の工夫が検討されたことを発端とし、生活・保育両学科の教員と図書館職員で構成する読書推進ワーキンググループで協議を重ね、平成 24 年度より短期大学部・図書館の連携企画として、全新生対象に読書推進活動が試行錯誤の中で始まりしました。その時の入学生が 2 年間の読書推進活動を体験して、この平成 26 年 3 月に卒業しました。

そこで、この 2 年間の振り返りつつ、読書推進活動の具体的な内容を紹介します。1 年次は読書量を少しでも増やしてもらう目的で、入学時に配布した読書ノート「読書 Diary」に本の紹介的な感想を記し、定期的にクラス単位で提出し、それを図書館コーナーおよび学科掲示板等にて公開しています。友達の推薦読書から、読書の輪が広がっていくことを期待しています。読書 Diary には参考となる資料も豊富に掲載されており、「先生からのおすすめ図書紹介」欄からは各先生方の読書の好みも理解でき、保育学科の「絵本リスト」は保育実習・教育(幼稚園)実習で活用できる資料となっています。また、読書感想文・読書感想画コンクールを実施し(平成 25 年度からは全学の取り組みに移行)、一年間で読書ページ量の多かった学生を多読者として表彰しました。

2 年次には読書を通して得た知見を、専門授業等と絡ませながら表現しました。生活学科の生活情報・生

活創造デザインでは情報やデザイン技術を活かした読書感想画・CG 動画を作成し、食生活では物語の中の食卓をテーブルコーディネートで再現しました。保育学科では、子どもたちが喜んだ絵本・私を読み聞かせたい絵本を紹介し、文集としてまとめました。そして、卒業時には、7305P の目標値を大幅に超えた学生(約 13500P 達成)が多読者 1 位として表彰されました。

2 年間の活動を終えて、多くの課題点を感じています。この活動で啓発されて読書量が増えた学生もいますが、読書ノート提出で強制的に読まされている感を持つ学生がいることも事実です。読書は自分の豊かな人間性を高めるために、自発的に読むことが基本です。しかし、携帯・スマホ世代の学生にとって、活字の本を読む習慣がほとんど身に付いていないことが現状かと思えます。

教養的な本には多くの情報量が積み込まれていて生活を送る上で大変参考になり、小説等からは自分とは異なった人生観・感性を知ることができます。専門的な本は授業の参考となり、生活学科における創作活動の閃きにも、保育学科の子どもへの読み聞かせ絵本の幅の広さにも繋がります。自分が気に入った本の世界を友達同士で情報交換、および共有しあうことも大切かと思えます。

この 2 年間の成果を活かしつつ、短期大学部・図書館では本学の学生にとって教育上効果的な方策を検討しながら、読書推進活動をより一層活性化していきたいと考えています。そして学生諸氏が幅広い人間性を育み、より豊かな人生を歩むことができることを期待したいと思います。

学生諸氏へ! 図書館または書店に足を運んで、今の自分にとってのお気に入りの一冊を見つけて読み始めてください。そして、自分の思いを友達に伝えてください。きっと、新しい世界が広がりますよ。

◎ 目 次 ◎

巻頭言 幅広い人間性を育む「読書推進活動」——私の人生本棚～目指せ 7305P～	1
特集 短期大学部 読書推進活動「私の人生本棚」～目指せ 7305P!～	2～3
平成 25 年度 学術情報センター利用者アンケート 結果報告	4～5
JapanKnowledge がリニューアルしました	6
コンピュータ演習室・自習室のシステム更新	7
資料プレゼンテーション会を開催しました	8
新着図書・雑誌紹介	8

特集 短期大学部 読書推進活動

短期大学部と図書館の連携事業として、平成24年度から進めてきた読書推進活動も3月で丸2年が経過しました。様々な読書活動に取り組んだ短期大学部学生の2年間を紹介します。

「私の人生本棚」では、入学してまず始めに読書の記録と読んだ本のページ数をグラフに記録する「読書Diary」が配布されます。

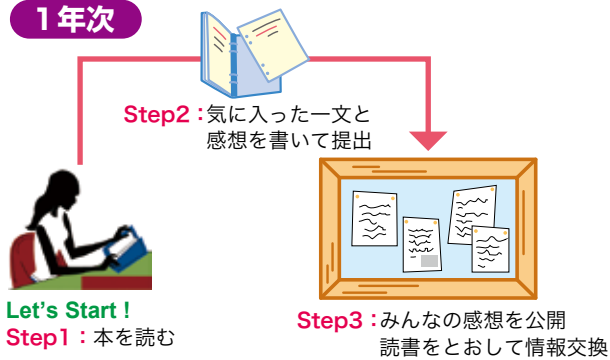
読書推進活動とは

「読書Diary」には先生からのおすすめ図書や学科・図書館が選んだおすすめ本がリストアップされていて、どんな本を読んだら良いか迷った学生をサポートしています。

また自分の読書履歴を記録し感想文（Diary）を友達と共有することで読書の楽しみを広げていき、短大卒業の二十歳までに皆さんが生きてきた日数と同じ 7305Pを、短期大学部在学中に読破することを目指します。

「私の人生本棚」～目指せ 7305P!～

1年次



Let's Start!
Step1: 本を読む

Step3: みんなの感想を公開
読書をとおして情報交換

2年次



Step4: 読書にちなんだ課題への取り組み
読んだ本のページをグラフに書き込み7305Pをめざします

第1回読書感想文コンクール 多読者表彰

読書を通じて得た感動や喜びを感想文や感想画として表現した作品を応募。10人の入賞者には表彰状を授与、同時に多読者の表彰も行いました。

受賞者からは、自分の好きな本を読んで書いた感想文で表彰されることに喜びを見出せたなど受賞のコメントがありました。



2年間の取り組み

1年次 1年次では、先ず本を読むこと。教員から紹介された本など読み進めるとともに、紹介 POP を作成したり、感想文に取り組んだり読書の楽しみを見出していました。

読書講座開催

教員からのおすすめ本の紹介や、自分が読んだ本のPOPを制作して発表するなど本に親しみ、読書を深める活動を行いました。



Diaryの共有・POPの展示

提出された読書Diaryは図書館コーナーで情報共有。コメントやPOPの展示も行いました。



「私の人生本棚」～目指せ7305P!～



2年次

2年次では、さらに読書を深める目的で、学科、専攻の専門、特色を活かし読書と連携した作品や発表を行いました。また、図書館主催の感想文コンクールや選書ツアーへの参加や選書資料のプレゼンテーションなどへの意欲的な参加もみられました。目標の7305Pの読了達成者には卒業式の日にマイスターの表彰を行いました。

活動発表

各学科、専攻の専門を活かした取り組みと成果展示が行われました。



生活学科生活創造デザイン専攻
「POP作成」



生活学科生活情報専攻
「CGで作った読書感想画」

生活学科食生活専攻
「物語のテーブルコーディネート」
「食に関連した本を読んで」



保育学科
「子どもたちが喜んだ絵本・童話」
「わたしが読み聞かせたい絵本・童話」



第2回読書感想文コンクール ブックトークプレゼンテーション

第2回読書感想文コンクールの短大から8名が入賞。表彰式では、ブックトークも開催され聴衆の関心を集めました。



目標達成おめでとう!

2年間読書Diaryを提出し続け、卒業時には7305Pを大きく上回る13,438Pを読破し、マイスター表彰された学生を輩出しました!



読書推進活動2年間 参加学生の声

- ★ 読書は自分の知識を広げるのにとっても重要なことだと思います。いつかそれが社会に出たとき、自分の役に立つと思うので、自分なりの読書をこれからも続けていきたいです。
- ★ 就活や授業に関する本が役に立った。
- ★ めんどくさいこともあるけど楽しかった。
- ★ 本を通じて様々な知識や自分が本当に知らなかったことが分かるようになりました。
- ★ 図書館の絵本や紙芝居等は、実習の際に沢山活用させて頂きました。沢山様々な本があり、役に立ちました。

◆ 平成 25 年度 学術情報センター利用者アンケート 結果報告 ◆

平成 25 年 11 月に学術情報センターで学生対象の利用者アンケートを実施しました。今回実施したアンケート結果と今後の改善について報告します。

回答者数は合計 480 名でした。多くの方にご協力いただき、ありがとうございました。

●利用者アンケート 実施要綱

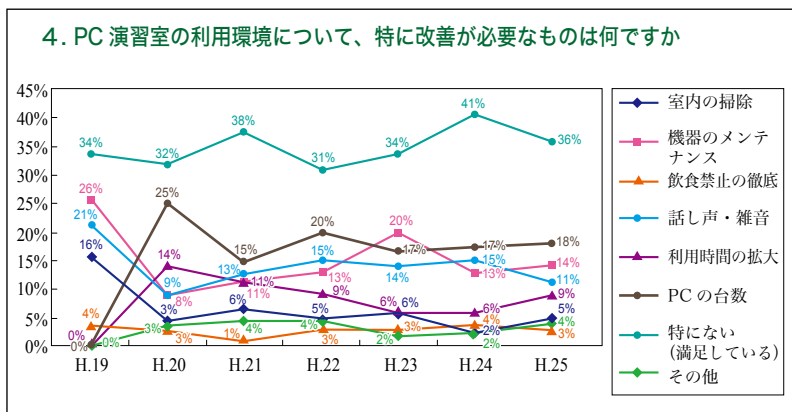
実施期間：平成 25 年 11 月 18 日(月)～12 月 6 日(金) ※土日除く

実施方法：学内 PC でのオンラインアンケート

回答数：汐路学舎 367 名、天白学舎 113 名、合計 480 名



●パソコン PC 演習室・相談室の結果 全 3 問のうち、経年変化の見られた項目について報告します。

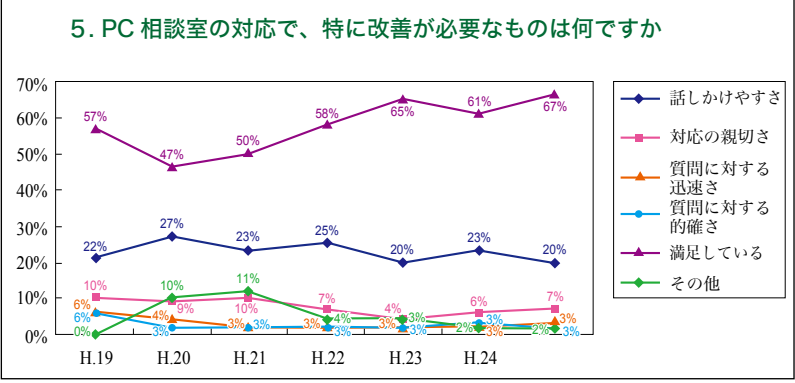


質問4) パソコン演習室の利用環境について、特に改善が必要なものは何ですか？

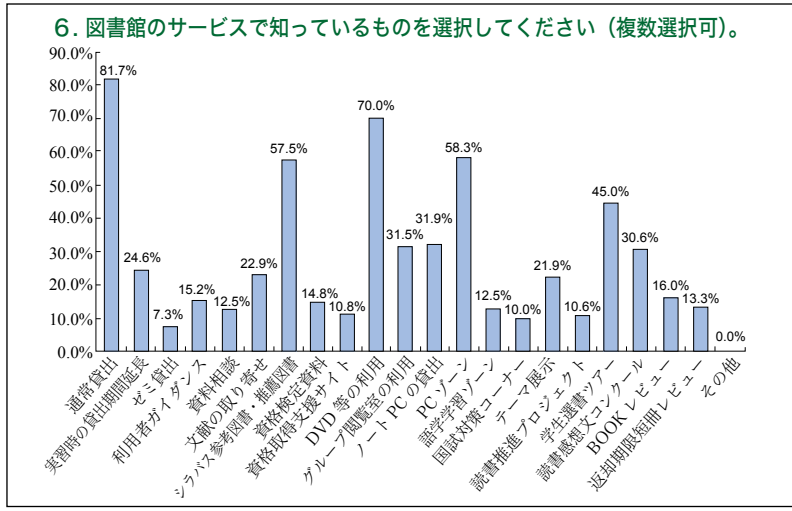
「話し声・雑音」や「室内の掃除」などの環境改善要望は昨年に対し減少傾向にあります。今後も、気持ちよく利用できる環境づくりに努めていきますので、引き続き皆様のご協力をお願いします。

質問5) パソコン相談室の対応で、特に改善が必要なものは何ですか？

パソコン相談室の対応は「満足している」の項目が6ポイント上昇し、67%の人が「満足している」と回答しており、過去最高となりました。また、話しかけやすさ、質問に対する的確さにおいても改善希望が減少し、利用しやすい環境に改善されています。



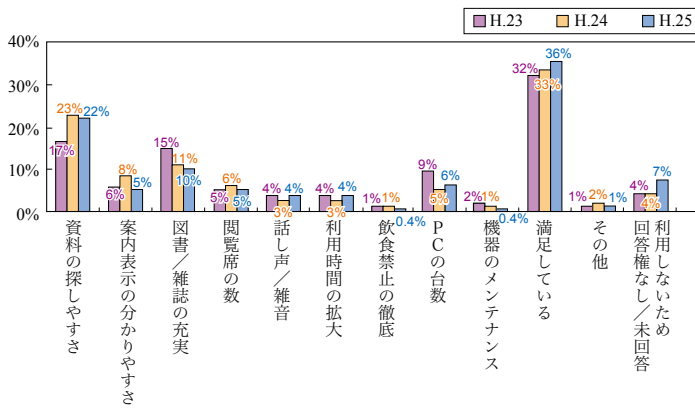
●図書館の結果 全 10 問のうち、重要なトピックについて報告します。



質問6) 図書館のサービスで知っているものを選択してください(複数回答可)。

施設では「語学学習ゾーン」が、サービスでは「資料相談」や「資格取得支援サイト」「ゼミ貸出」の認知度が低い結果となりました。これらのサービスについて、図書館をより活用してもらえるよう、更なる周知案内をおこなっていきます。

10. 図書館の利用環境について、特に改善が必要なものは何ですか？



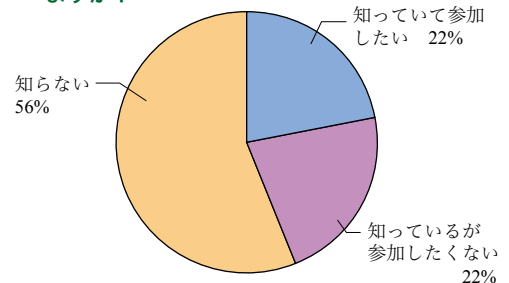
質問 10) 図書館の利用環境について、特に改善が必要なものは何ですか？

「満足している」との回答が36%で過去最高となりました。「資料の探しやすさ」「案内表示の分かりやすさ」等の環境に対する改善要望も昨年度に比べて減少しています。館内の案内表示の見直しや、OPAC 配架表示の改善が反映されたようです。また「図書／雑誌の充実」についても学生選書や学科選書の実施により、年々改善傾向にあります。より快適な学習環境が提供できるよう、更なる向上を目指します。

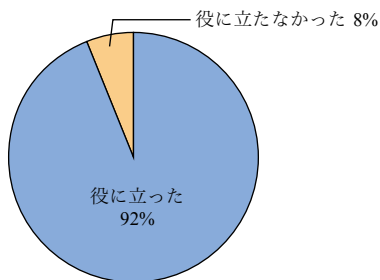
質問 12) 図書館で開催している読書感想文コンクールや学生選書ツアーなどのイベントについて知っていますか？ また、参加したいと思いますか？

名女大読書プロジェクトによる図書館企画の増加に伴い、今年度より新たに図書館企画の認知度について調査しました。その結果、図書館企画について「知らない」と回答した人が半数以上ありました。「読書感想文コンクール」など平成25年度より開始の企画もありまだまだ認知度が低いようです。これら企画は平成26年度も実施を予定していますので、広く皆さんに案内できるよう工夫していききたいと思います。

12. 図書館で開催している読書感想文コンクールや学生選書ツアーなどのイベントについて知っていますか？ また、参加したいと思いますか？



15. 図書館の「レポート作成の手順」講習を受講した方におたずねします。実際にレポートを書く時、この講習の内容は役に立ちましたか？



質問 14) 図書館の「レポート作成の手順」講習を受講した方におたずねします。実際にレポートを書く時、この講習の内容は役に立ちましたか？

受講者の約9割が「役に立った」という回答でした。また、設問13「図書館の講習会で教えてほしいことは何ですか」においても「論文作成手順」が36%と最も要望が強くありました。これらを受け、論文作成の講習会を更に強化していきます。しかし、「担当教授によって書き方が異なった」「受講内容を覚えていない」とのコメントもあったため、講習内容や教材の見直しをするとともに、指導教員との密な連携にも取り組んでいきます。

●利用者アンケート まとめ

●パソコン演習室の環境改善

平成25年度から天白学舎5号館に新たにコンピュータ自習室を設けました。また、巡回やマナー指導の徹底により快適な学習環境が保たれ、環境改善への要望が減少しました。パソコン相談室においても職員対応の満足度が過去最高となり、全体的な満足度の向上につながったと考えられます。

●名女大読書プロジェクトの更なる推進

短期大学部と連携して行なわれている読書推進活動が全学的な広がりを持つために、図書館イベントの認知度向上は必須となります。今回の調査結果をふまえ、図書館の広報活動の見直しを行っていきます。

これからも皆さんの声に応える努力を続けていきます。学術情報センターを快適に使えるようご協力をお願いします。

◆ JapanKnowledge がリニューアルしました ◆

2014年4月1日よりJapanKnowledge +がJapanKnowledge Lib にリニューアルしました。インターフェースも一新し、シンプルな検索画面となりました。表示画面は変更されましたが、基本となる検索方法については以前と大きな変更はなく、便利な機能が追加されています。今回は変更点と追加点を中心に利用手順を説明します。

■ JapanKnowledge

日本大百科全書（ニッポニカ）や現代用語の基礎知識、ランダムハウス英和大辞典などの辞書・事典を一括検索できます。また、歴史関係や用語・人名・情報、記事・コラム、音声・画像などの多様なコンテンツがあります。会社四季報や週刊エコノミストも搭載されているので、就職活動の企業情報収集にも利用できます。

ステップ1 アクセス方法

アクセス方法は従来と変更はありません。

学術情報センター URL : <http://sic.nagoya-wu.ac.jp/>
>資料を探す>電子ブック・オンライン百科事典で探す

上記サイトにアクセスし「JapanKnowledge」をクリックしてください。右上の「ログイン」ボタンをクリックすると検索画面が開きます。

学内のパソコンから利用できます。

ステップ2 検索画面




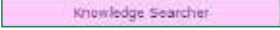
- ① “基本検索” “詳細検索” をメニューから選択できます。検索BOXにキーワードを入力し“検索”ボタンをクリックします。
- ② 検索BOXにはサジェスト機能が搭載され、調べたい言葉ははっきりわからなくても、冒頭の数字を入力すると候補項目が表示されます。英語などの綴りが曖昧な場合でも、目的の項目に行き着くことができます。
- ③ 画面左にはコンテンツファセットとメディアファセットがあり、名称部分をクリックすると検索結果を取録コンテンツごとに絞り込むことができます。検索でヒットしたコンテンツの横には件数が表示され

ます。一度に複数分野を選択することも可能です。

- ④ 検索結果を見出し語・一致度合い・情報量・コンテンツ順で並べ替えることができます。件数表示も変更できます。“スニペット”の切り替えて、項目名だけの表示にすることができます。

ステップ3 本文表示画面



- ① 画面左上に収録コンテンツ名が表示されます。
- ② 右メニューでは目次・関連項目・関連サイト・参考文献などが表示されます。
- ③ Knowledge Searcher
本文中で検索したい言葉をマウスで反転させるとKnowledge Searcher機能のウィンドウが開き、検索結果を表示します。リンクをクリックすると選択項目が別ウィンドウで開かれます。初期設定ではオフ（白）になっているので、 クリックしてオン（ピンク）にしてください。
- ④ 引用元挿入機能
本文テキストをコピー＆ペーストすると、貼り付け先の文書作成ソフトにペーストした際、自動的に引用元の情報が追加されます。表示される引用情報は、項目名・コンテンツ名・データベース名・入手先URL・参照日時、です。レポート作成時に役立ちます。

検索終了後は、必ず画面右上にある「ログアウト」をクリックしてください。学内アクセス数に限りがありますのでご協力ください。データベース利用方法についてはゼミ単位での利用講習も受け付けています。また、利用方法がわからない場合は図書館カウンターへ問い合わせてください。

◆ コンピュータ演習室・自習室のシステム更新 ◆

平成 26 年 4 月、「表 1 部屋別コンピュータ概要」に赤で示した計 6 部屋のコンピュータが新機種になりました。

表 1 部屋別コンピュータ概要

部屋名	新機種	旧型機	総台数
南 2 -101		○	20
南 2 -102	○	○	24
南 2 -103	○		36
南 2 -201		○	56
南 2 -202		○	60
南 2 -301		○	60
中 402	○		58
天 2 -409		○	54
天 2 -425	○		64
天 2 -427	○	○	12
天 5 -410	○		21



図 1 新しい汐路中央館 402 教室

このコンピュータは、第三世代インテル Core i7 プロセッサを搭載し、高負荷の作業もより快適に行うことができます。またインテル HD グラフィックスが高次元のグラフィックスパフォーマンスを実現します。さらに USB 3.0 ポートを搭載しており、高速かつ容易なデータ転送を実現します。

メディアカードリーダー

今回更新されたすべてのコンピュータに、マイクロ SD カード等、計 48 種類のメディアの読み書きができるメディアカードリーダーが接続されています。(図 2) これによりデジカメやスマホ等からのデータの取り込みがより手軽にできるようになりました。



図 2 メディアカードリーダー

これらコンピュータの更新以外に、全てのコンピュータ演習室・自習室においてレーザープリンタの更新を実施しました。それに伴い以下の「印刷管理システム」が導入されました。

印刷管理システム

従来のレーザープリンタでは、多人数で同時に印刷した場合にどれが自分の印刷物に分かり難いという問題がありました。今回導入する印刷管理システムでは出力直前にプリンタ隣のタッチパネルで印刷の指示をするため、このような問題が起こりません。



図 3 印刷指示タッチパネルとプリンタ



図 4 タッチパネル ID 入力画面

また、印刷ポイント制が導入されました。年間 500 ポイントが年度初めに与えられます。ポイントが無くなるとそれ以上印刷ができなくなります。印刷は必要な分だけとし、ポイントが節約できる A4 モノクロ印刷、集約印刷、両面印刷を活用してください。なお、複数部印刷は 3 部まで可能です。

※ポイントの詳細については、プリンタ上のパネル、またはオリエンテーション資料等をご覧ください。

太白学舎 5 号館 410 自習室の増設

太白 5-410 自習室のコンピュータ 15 台が、全て新機種に更新され、さらに新機種 6 台を増設し計 21 台が使えるようになりました。これらのコンピュータには、他の教室の新機種と同様メディアカードリーダーが接続されています。

資料プレゼンテーション会を開催しました

昨年12月に汐路学舎にて資料プレゼンテーション会を、読書感想文コンクール表彰式と同時開催で行いました。学生選書ツアーに参加した学生が自身の選書した本について、選書コンセプト、読者ターゲット、本のおすすめしたいポイントについて発表しました。自分自身の成長や未来のビジョンと重ねて本を選んだ人、普段図書館を利用しない人が図書館に足を運びたいようになるよう工夫した人、自分の好きな作家の作品を皆にも楽しんでもらいたい人、参加者それぞれの思いを選書した資料を手に取りつつ紹介していきました。

普段はなかなか語れない本への熱い思いをぶつけたり、自身の体験をもと

に読書紹介したりと、和やかな会となりました。残念ながら会に参加できなかった学生選書ツアー参加者の資料についても、参加者が作成した選書コンセプトシートをもとにスライドで資料紹介をしました。当日紹介された本は、現在、汐路本館と天白分館の学生選書コーナーで展示中です。選書者による紹介POPも展示されています。



新着図書・雑誌紹介

汐路本館に文庫が1シリーズ、天白分館に定期購読雑誌3誌と新書1シリーズが加わりました。定期購読雑誌はいずれも教員から推薦いただいた、学科と関わりの深い内容です。学習や研究に活用してください。

◇図書◇

汐路本館



●光文社古典新訳文庫

世界の名著が日本語新訳（または初訳）で刊行されています。現代語訳で訳されているので古典作品に初めて挑戦する人にも読みやすいシリーズです。

★汐路本館 2F 第一閲覧室にあります。

●ポプラ新書

昨年9月に創刊されたポプラ社が発行する新書レーベルです。「未来への挑戦！」を掲げ、強力な執筆人のラインナップで今後も発行が予定されています。図書館で継続購入していきます。



★天白分館 一般書コーナーにあります。

必要な本が図書館にない場合、購入希望のリクエストをすることができます。MyLibraryの「図書の購入」、または図書館カウンターの「購入希望図書申請書」を利用してください。

◇雑誌◇

天白分館



●保育情報 【月刊】

国や地方行政の保育に関する政策や現状について掲載されています。保育情勢を把握するためにかかせない一冊です。保育職を目指す人はぜひ活用してください。



●こころの科学 【隔月刊】

“こころ”に関する学術的な情報・知識が臨床実践を踏まえわかりやすく掲載されています。医療・心理・福祉・看護・教育領域に携わる人、またその職域を目指す学生に適した雑誌です。

●ムジカノーヴァ 【月刊】

ピアノ教材や指導方法、演奏テクニックなどピアノを教える人、学ぶ人へおすすめです。ピアノ講師による現場の声も知ることができます。

★上記3誌は天白分館 学術雑誌コーナーで利用できます。未製本バックナンバーは貸出も可能です。

名古屋女子大学 学術情報センターだより 第63号 発行日：平成26年5月20日

発行：名古屋女子大学学術情報センター
〒467-8610 名古屋市長穂区汐路町3-40

●図書館 TEL (052) 852-9768
●システムサービス TEL (052) 852-1120